

令和6年12月20日

川西町立大塚小学校保護者 各位

川西町立大塚小学校

校長 木村 浩登

「令和6年度 学校教育とお子さんに関するアンケート」について（報告）

日頃より、本校教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、先頃の標記アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。その結果と今後の方向性について概要をお知らせいたしますのでご覧ください。

なお、児童・保護者・教職員による三者比較の表は裏面に印刷しています。表に示した%は、「そう思う・だいたいそう思う・あまりそう思わない・そう思わない」の4段階評価において、「そう思う・だいたいそう思う」と肯定的な回答があった割合となります。

1 今後の方向性

時間を上手に使うことは、大人になってからも大切なことです。学校では、休業中の過ごし方だけでなく、下校を早くしてできた20分の使い方について学年に応じて話し合い、適時、有意義な時間の使い方を考えさせていきたいと思っています。「メディアとの付き合い方」「仕事・お手伝い」「家庭学習」について、それぞれ次のように考えています。

【メディアとの付き合い方】

- 6月に各ご家庭において「わが家のルール」を作っただき、6月と8月に生活リズムをチェックする期間を設け、メディアと上手に接する習慣づくりに取り組んできました。また、11月には親子読書の取り組みを通して、家庭で本に親しむ楽しさを保護者の方にも味わっていただけたのではないかと思います。今回の結果を受け、改めて「わが家のルール」を見直していただくように、学校から用紙をお渡ししますので、お子様としっかりと話し合い、ルールを決め、お家に掲示し、家族みんなで取り組んでいただきたいと思います。学校でも、冬休み前に学級指導を行います。

【仕事・お手伝い】

- 子どもは勉強するのが仕事です。しかし、家庭の一員として仕事を与えてやることも親として大事なことです。仕事やお手伝いをして、感謝されることにより、子どもは働くことが好きになり、自己有用感を感じることができます。子どものためにしっかりと仕事を与える親であってほしいと思います。学校でも継続して、与えられた仕事に責任をもって取り組むことができるように支援していきたいと思っています。

【家庭学習】

- 「宿題が終われば勉強が終わり」では困ります。本来なら、子どもたちが自ら価値ある学びに取り組みればいいのですが、なかなかそれができないようです。これまでも、宿題が早く終わった場合の学習として、タブレットを使った「eライブラリー」や「キーボー島（タイピング練習ソフト）」について取り組むように指導してきました。「eライブラリー」は、主に前学年の問題に取り組んでみることを奨励しています。「キーボー島」については、この度、本校において各学年末までにめざすレベルを表にまとめました。各ご家庭にもお知らせしますので、お子様の達成状況を確認し、ぜひ、取り組みへの声かけをお願いします。

2 その他

- 学校・担任への応援・ご意見等をお寄せいただきありがとうございました。今年度よりホームページの構成を変え、極力、学校の方針や取り組みについてお伝えしてまいりましたが、いただいたご意見等から、学校からの発信が十分ではなかったのではないかと感じました。今後も、ホームページやおたより、学級懇談会等で、学校の様子を積極的にお知らせし、保護者の皆様と共に考える場を設定するとともに、次年度の年間計画(案)には保護者面談や学級懇談会を増やして計画しました。次年度の年間計画(案)につきましては、ホームページ(学校の様子：学校運営協議会)に掲載しておりますので、ご覧になっていただき、ご意見がありましたら、ぜひ学校までお聞かせください。(TEL 42-4722：教頭)